T/7

3/7/1

DIALOG(R) File 347: JAPIO

(c) 2005 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

00228524

FLAP ARRANGED TO BE CAPABLE OF READILY OBSERVING SAFETY DEVICE

PUB. NO.:

53-030524 [JP 53030524 A]

PUBLISHED:

March 22, 1978 (19780322)

INVENTOR(s): SUEHIRO FUMIO

APPLICANT(s): SUEHIRO FUMIO [000000] (An Individual), JP (Japan)

APPL. NO.:

51-104040 [JP 76104040] August 30, 1976 (19760830)

FILED:

?

(9日本国特許庁

①実用新案出願公開

公開実用新案公報

昭53—23219

Mnt. Cl2. G 10 C 3/12 識別記号

60日本分類 102 G 5

庁内整理番号 6912-55

63公開 昭和53年(1978) 2月27日

審查請求 未請求

(全 2 頁)

匈鍵盤楽器の鍵タツチ機構

願 昭51-104040

②実 @出

願 昭51(1976)8月5日

@考 池端正巳

浜松市天王町176番地

⑪出 願 人 日本楽器製造株式会社

浜松市中沢町10番1号 個代 理 人 弁理士 山川政樹

外1名

砂実用新案登録請求の範囲

鍵盤板の側面に挿通孔を形成し、この孔に雌ね じが形成されたリングを嵌着固定させると共に前 記リングに重りを着脱自在に螺合させたことを特 徴とする鍵盤楽器の鍵タッチ機構。

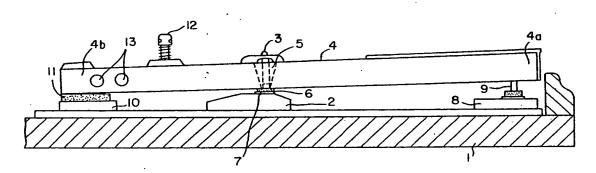
図面の簡単な説明

第1図は従来のグランドピアノにおける鍵タツ

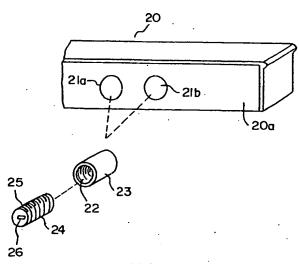
チ機構を示す概略構成図、第2図はこの考案に係 る鍵タッチ機構の一実施例を示す要部分解斜視図、 第3図a及びbは夫々重りの一実施例を示す断面 図である。

20……鍵盤板、21a,21b……挿通孔、 22……雌ねじ、23……リング、24……雄ね じ、25……重りo

第1図







第3図

